

# 進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	商学研究科
大項目	9 教育研究等環境
中項目	
小項目	9.0.4 教育研究を支援する環境や条件は適切に整備されているか。
要素	教育課程の特徴、学生数、教育方法等に応じた施設・設備の整備 ティーチング・アシスタント (TA) ・リサーチ・アシスタント (RA) ・技術スタッフなど教育研究支援体制の整備 教員の研究費・研究室および研究専念時間の確保

## II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

### 【現状の説明】

#### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 研究条件を充実・整備するため、前期課程、後期課程とも1人1人のブースを確保する。	→ブース数。	D
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

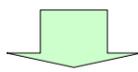
### 《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目9.0.4	大学院教育の充実をはかり、社会的貢献において実績をあげる人材と優れた若手研究員の輩出をめざしている。その研究条件を充実・整備するため、1人1人のブース確保が必要である。現在、前・後期合わせて58名が在籍しているがブース数は10である。後期課程だけに絞れば9名で、一応は満たしている状態であるが、15名という収容定員からみれば、不足しているのは明らかである。他は大学院生室を共同で使用するというあまりにも劣悪な環境であり、整備が急務である。しかしながら現実問題として、スペースの問題が大きく、教室数との兼ね合いで転用も難しい状況にある。
☆ その他	

### ◎効果が上がっている事項

#### 【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

☆ 小項目9.0.4	
☆ その他	



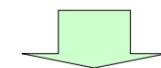
#### 【次年度に向けた方策(1)】伸ばさせるための方策

☆ 小項目9.0.4	
☆ その他	

### ◎改善すべき事項

#### 【点検・評価 (2)】改善すべき事項

☆ 小項目9.0.4	場所の確保（後期課程収容定員の15ブースの確保）。前期課程は大学院生室を整備し、せめて2人に1ブースの確保を目指す。
☆ その他	



#### 【次年度に向けた方策(2)】改善方策

☆ 小項目9.0.4	大学院生室の整備計画を策定・実施。
☆ その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★ その他 (自由記述)

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○院生のために教育研究環境を更に改善することが望まれます。

【学内委員】

○本項目における現状説明はブースの件だけでしょうか。

○研究施設・設備以外の要素についても、記述が望まれます。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ なし

Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

9.0.0.S1	個人研究費・研究旅費の額
9.0.0.S2	留学、特別研究期間制度、自由研究期間制度の利用状況
9.0.0.S5	科研費の申請・採択件数
9.0.0.S6	学外からの研究費の総額と一人当たりの額
9.0.0.S11	専任教員の発表論文数
9.0.0.S13	学会誌・国際学会議事録等に掲載された学術研究論文数
9.0.0.S14	21世紀COEプログラムの採択状況
9.0.0.S15	文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業の採択状況
9.0.0.S16	特定プロジェクト研究センター制度の活用状況
9.0.0.S18	校地、校舎、講義室・演習室等の面積
9.0.0.S21	教室の種別数と使用率
9.0.0.S22	PC設置台数
9.0.0.S23	研究設備(文科省補助、学院購入)の整備状況
9.0.0.S24	シャトルバスの利用状況

<個別的な指標>
